



実施団体:(独)放射線医学総合研究所/千葉大学/千葉市科学館

シリーズ「放射線と人間」

昨年度の原子力発電所の事故の影響はいったいどれぐらいあるのでしょうか。 また、放射性物質による汚染は、どこまで取り除くことができるのでしょうか。 放射線と生物のかかわり、および「千葉発」の除染技術の二本立て。

【第1回】 福島原発事故の 健康影響について

講師: 酒井 一夫 氏(放射線医学総合研究所)

放射線は生物の体に様々な影響を及ぼします。 一方、生物の側には、放射線に対する備えを 持っていることがわかっています。

以上のような、放射線と生物とのかかわり合いを踏まえた上で、福島原発事故の健康影響について考えたいと思います。

日時: 2012年10月6日(土) 11:00~12:30

【第2回】 セシウム高速除去用 吸着繊維『ガガ』の開発

講師: 斎藤 恭一 氏 (千葉大学 工学研究科)

昨年度の福島原発事故により、放射性物質の 一部が地表水に溶け込んだ。水中の微量のセシウムイオンを捕まえることができる物質を 市販のナイロン繊維の表面に取り付け、得られた性能のよい吸着材を大量に製造し、除染 現場に適用した成果を解説する。

日時: 2012年10月6日(土) 14:00~15:00

場 所: きぼーる15階 ビジネス支援センター 多目的室

定員:各72人(どなたでも参加可能)※お話の内容の目安は高校生以上向け

【お申込・お問合せ】

043-308-0519 千葉市科学フェスタ事務局

千葉市中央区中央4-5-1(千葉市科学館内)